

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 2 年 2 月 25 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490200635		
法人名	株式会社 富山学園		
事業所名	グループホーム ほのぼの苑 江波気象台入口		
所在地	〒730-0834 広島市中区江波二本松2丁目10-22 TEL 082-295-5575		
自己評価作成日	令和2年1月29日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490200635-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和2年2月19日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

ご本人様やご家族の要望に沿ったケア・身体機能に応じたケア・笑顔に繋がるケアを職員間で統一し実践するようにしています。 食事はグループホーム内ですべて手作りをし、お誕生日などはご本人のお好きな物を提供しています。また、キッチンからの匂いや音などから、毎回の食事を楽しみにして頂く事も大切にしています。 当グループホームは、江波山の麓に位置し、春は桜・秋は紅葉と季節を感じる事が出来る様な生活をして頂いており、ホーム内にある中庭でも季節を感じていただける工夫をしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

「地域との交流、家庭的な雰囲気」を大切にしており、地域・主治医・家族等と綿密な連携を図りながら、穏やかで快適な生活を目指している。 食事は3食手作りで、家庭菜園で野菜を作る・メニューを考える・調理する・片付ける等の家事を共に行い、家庭的な雰囲気を大切にしている。生活環境においては、清掃や清潔を常に意識し、職員及び入居者が一丸となって居心地の良い共有空間づくりを実践している。 事業所と地域のつきあいに関しては、自治会の行事・認知症カフェ等への参加を通じて、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう努力している。

自己評価	外部評価	項 目（ さくらユニット ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	職員全員で作った理念を、毎朝の朝礼で出勤職員全員で唱和し、理念に添った支援が行えるように心がけている。ケアプランも、理念に添ったプランを立案し、スタッフも共有できるようにしてもらっている。	毎日の朝礼で、理念を職員全員が唱和し、新人研修や個別指導等を活用することで、理念の共有と職員の教育に注力している。 理念を基に年間目標を職員個人が決め、自己管理を促すことで、地域密着型サービスの職員として、通勤時間等も含めて理念の共有や実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に入会し、地域の行事に参加させて頂くとともに、地域の方々にもボランティアにお越しいただき交流をしている。 認知症カフェの声掛けを頂いており、都合つく場合は参加している。	町内会の行事に積極的に参加し、回覧板や清掃活動等を通じて、地域とのつながりを大切に育んでいる。 認知症カフェ・近隣の事業所との連携・ボランティアの受け入れ等を通じて、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の方の質問や相談などに、随時応じている。 施設見学会を年に数回開催し、来訪者の方々の相談も受けている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月ごとの運営推進会議にて、日々の提供しているサービス、苑の行事などを報告している。また、会議で頂く意見は、スタッフ会議で全職員に伝達し、今後のサービス向上に繋げていくようにするつもりでいる。	地域住民・地域包括支援センターの職員・利用者家族等の参加者より頂いた意見や情報は、スタッフ会議等で共有し、地域連携やサービス向上のために活かしている。 報告は、面会に来られた時に行っており、その時に頂いた意見は、ミーティング等で話し合い検討している。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	地域包括支援センターの職員の方と、運営推進会議の時に情報交換を行い連携をとっている。	行政への相談は、専任の職員が要望や疑問点等があれば随時行っており、綿密な連携が図れるように取り組んでいる。 市の事業（認知症カフェ）や包括支援センター等との連携を通じて、行政との協力関係の構築に尽力している。	

自己 評価	外部 評価	項 目（ さくらユニット ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	基本的には身体拘束は行っていない。自由に行動できるよう支援している。玄関は施錠しているが、希望があれば開錠し散歩なども出来るように努めている。	新人研修の時だけではなく、定期的に研修を実施し、法人の理念の理解と実践方法について学ぶ機会を確保し、日々の業務の中でも指導を徹底している。利用者の「穏やかで楽しい」を大切にし、制限するのではなく思いを尊重するという考え方で、日々のケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	施設内で職員を対象に3か月に一度研修を行っている。必要に応じて虐待チェックリストを使い、日々の業務内で言動に問題はないか確認する時間を設けている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修会の伝達報告会にて情報を共有している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時は管理者・計画作成担当者が出席し、十分な説明を行っている。説明後も、ご家族の不安・疑問点を尋ね、理解や納得をしていただけるよう努めている。また、改定等の話は、運営推進会議などを利用し行うと共に、書面にも十分な説明を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議などで頂くご意見、面会時に頂くご意見やご要望は、出来るだけ早急に日々の運営に反映させる様にしていきたいと思っている。スタッフ会議等をその機会にあてている。	食事や入浴等の日常生活を通じて、利用者の意見や意向の把握に努めている。運営推進会議・面会・広報誌・手紙等を活用し、積極的に意見を聞き、課題等が明らかになった場合は、スタッフ会議等で検討し、運営に反映する仕組みを構築している。	

自己 評価	外部 評価	項 目（ さくらユニット ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月行われるスタッフ会議に本社社長・統括施設長が出席し、意見や提案を聞き、今後の運営に役立たせるように努めている。	個人面談や、日頃からの声掛け等で、職員が意見や提案を言いやすい環境作りに尽力している。また、限られた時間を効率的に使うために、意見をもって会議に臨む取り組みを実践している。職員のストレス軽減にも配慮し、相談等があればいつでも面談できる体制を構築している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は、賞与等に日頃の努力、実績を反映させ、職員の向上心を上昇させるべく整えている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	本社にて研修会を設け参加している。また、必要と思える外部研修にも個別に対応してもらっている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域包括支援センターを中心として、地域のGH事業者交流会にも参加し情報交換・サービスの質の向上に努めている。		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前面談で、ご本人の思いをお聴きする・ご家族からも情報をお聞きするようにしている。入居されてからは、特に関わりを密に持ち、その思いを傾聴していくことで安心できる環境を整えている。		

自己 評価	外部 評価	項 目（ さくらユニット ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居前にご本人やご家族の困りごとや身体機能・認知症状をお聞きする。把握した上で必要な支援を考え、入居後には出来るだけの関わりを持ち馴染の関係作りに力を入れている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ホーム内で出来る支援以外のサービスを必要とされる場合は対応したいと思っており、その都度何が必要であるかを検討させていただき、対応したいと思っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご利用者様と一緒に掃除・洗濯・料理などの作業を行い、ともに生活をしているという意識の中で業務を行っている。また、助け合っているという思いを言葉にしていくこともしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会等にこられた折に現状を報告し、今のご本人の思いをご家族にお伝えして、ご家族とホームの職員が一緒になって支援するよう心がけている。現在困っておられることや心配などは、出来るだけ早急に対応（連絡）していく事にしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	馴染みの場所へ出かけたり、面会にお越しいただいたりすることで、関係の維持に努めている。	買い物・ドライブ・年賀状等を活用しながら、人や場との関係継続の支援を実践している。ボランティア活動を積極的に受け入れ、以前からの馴染みの人との関係が途切れないように努めている。	

自己 評価	外部 評価	項 目（ さくらユニット ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	出来るだけ良い関係を保てるように気をつけている。お互いが労わり合ったり助け合ったりされながら、下膳や掃除・濯物量などをされている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービス利用が終了されても、必要に応じて相談や援助に応じられるようにしている。 近所にお住まいの方には、お会いした時にご家族の様子をお聞きしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	アセスメント表などから一人ひとりの意向の確認を行ったり、普段の会話の中から真意を把握するようにしている。また、意思疎通の困難な方にはご家族などから頂いた情報を元に、職員間でカンファレンスなどを行い情報を共有し、ご本人本位の支援ができるようにしている。	日常の会話やテレビ等を活用し、本人の思いや意向を把握し、日誌等を活用しながら、チーム全員で情報を共有し検討している。以前の情報に関しては、家族や知人等の協力を得て把握に努めている。実現が困難な場合は、カンファレンス等を活用し、利用者本位の支援ができるように検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前にご本人やご家族の要望や思いを傾聴し、馴染みの生活を考慮し環境を整えている。また、入居前のサービス提供者の方より情報を頂いている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個人の現状を十分に把握した中で、プランを計画実施し、お一人お一人に合った生活を送っていただいている。また、状況の変化等記録に残して職員全員で把握できるようにしている。		

自己 評価	外部 評価	項 目（ さくらユニット ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	必要時には施設長・看護師・介護職員を交えてカンファレンスを行うようにしている。立案時には、ご本人やご家族の意向などをお聞きして、現状に即したプランを作成している。毎日の様子をモニタリングに反映できるようにかかわっており、モニタリングは次のケアプランに生かしている。	ケアマネジャーが原案を作成し、コピーを配布することにより、不規則な勤務体系の中でも、職員間で課題・意見・情報を反映しやすい仕組みを構築している。その情報を基に本人・家族等と話し合い、現状に即した介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	ケアプラン実施記録用紙を作成して日々の様子や気づきなどを記入するとともに、プラン立案に役立たせている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	受診の付き添いをはじめ、買い物などの付き添いにも出かける。また、ご本人の行きたいところなどに出掛ける外出支援を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域の行事に参加させていただいたり、関わりのある方々との面会等もお願いして、穏やかに生活を楽しんでいただけるよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	ご家族やご本人が希望される医療機関への受診・往診を行ってもらっている。看護師による医療連携も行われており、適切な治療が受けられるように支援している。時にはスタッフがご家族と一緒に受診し、納得いくように説明を聞く事もある。	協力医療機関（内科・皮膚科）の訪問診療は、月に1回の頻度であり、それ以外に3カ月に1回の頻度で、眼科の訪問診療を受けている。専門医への受診が必要な場合は、適切な医療を受けられるように、主治医及び家族と連携しながら支援している。	

自己評価	外部評価	項 目（ さくらユニット ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護師が勤務の時には、夜勤帯での気づきは申し送りで報告し、日勤帯での気づきはその都度報告している。看護師は、個々のかかりつけ医と相談の上、適切な看護を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者様が入院された場合は、ホームでの生活・医療等の情報提供を必ず行い、継続できることはお願いしている。また、たびたび面会に行かせていただく中で、ご本人の容態をお聞きしながら早期退院が出来るようにお願いもしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時には、重度化についての説明を行い、必要時にはご利用者様の容態を考慮した上で、ご家族様・主治医・職員で話し合いを重ね、今後の方針を決めていくことにしている。ご家族の意向に沿ったケアを心がけている。また、看取りについてもしっかりとした経過報告を行いながら実施している。	契約時に、終末期においての利用者及び家族の希望を確認している。確認後も主治医及び家族等と連携し、定期的に終末期における希望を確認することで、時と共に変化する希望に対応している。スタッフ会議や研修等を活用し、職員の教育にも尽力している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	毎月行われるスタッフ会議で、急変時・事故後の対応の方法・注意事項の確認や訓練を行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	本社指導の下、夜勤勤務者には防火管理者講習の受講を義務付け意識の向上を図るとともに、毎月一回は日・夜勤帯でそれぞれ消防避難訓練を行っている。	職員の教育と地域との協力体制の構築を図るために、月に1回の頻度で消防避難訓練を実施している。消防署にも、定期的に協力を依頼している。備蓄も確保（3日分の食料）しており、地域との関係も良好である。今後も、自治会等との協力体制が、維持できるように尽力している。	

自己評価	外部評価	項 目（ さくらユニット ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	お一人おひとりの自尊心を大切にさせていただきながら、対応している。排泄時には出入口のドアは閉める・排泄の声かけは大きな声で言わない・入浴介助は出来るだけ同性介助を行うなどプライバシーの保護には十分な注意を払いながら対応させていただいている。	利用者の人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応ができるよう、新人研修や個別指導等を活用している。 日常業務の中で、利用者の誇り・生活史・経験等を尊重し、対応等に配慮しながら、本人本位の支援が実践できるよう、事業所全体で尽力している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	声掛けを行う場合、職員の思いを伝えるのではなく、まずご本人がどうしたいか何を思っているのかを確認する事を心がけている。必要であれば、場所を変えるなどの工夫もしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一日のスケジュールを決めずに（大まかなものはあるが）、お一人おひとりの体調や希望に沿った生活の支援をしている。会話の中から何がしたいか、体調はどうかなどを把握し、無理の無いように取り組んでいる。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎日の更衣の時や入浴時には、衣服は出来るだけご本人と一緒に選んでいる。また、職員が行う時は、季節にあったもの・調和の取れたものなど気をつけている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	メニューにご利用者様の希望を取り入れつつ、季節の食材を使用し、調理・盛り付け・配膳・片付けを一緒に行っている。お誕生日などはその方の好きな物をメニューに取り入れ楽しみにして頂く様にしている。	食事はすべて手作りで、利用者と職員と一緒に献立・準備・食事・片付けを実施している。食の好みやアレルギー等を勘案し、対象者には異なるメニューの食事を提供している。ホットケーキやたこ焼き等を一緒に作る機会もあり、食事を楽しむことができるように日頃から支援している。	

自己評価	外部評価	項 目（ さくらユニット ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。	毎食の食事摂取量と水分摂取量を記録し、十分な量が確保できているかどうか確認している。また、一人ひとりの咀嚼・嚥下機能に合わせた食事形態や食事時間など対応できるようにしている。食事の好き嫌いには対応し、出来るだけ残されることの無いように工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後には口腔ケアを行い、口腔内の清潔保持に努めている。また、毎週1回は訪問歯科の訪問診療を受けられ、口腔内のチェックを行っていただいている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排尿チェック表を使用し排尿パターンを知り、日中のトイレ誘導を行うことでパットの使用数を減らすように努力している。	排泄チェック表やファンレストテーブル等を活用し、排泄パターンの把握及び介護負担軽減に配慮した支援を実践している。退院時や状態が変化した場合も、カンファレンス等を活用し、状態に合わせた対応を実施することで、トイレでの排泄や排泄の自立に向けて支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。	便秘症の方には水分摂取量に注意をしているとともに、適度な運動や看護師による腹部のマッサージなどを行っている。食事メニューに食物繊維の多く含まれるものを使用するようにしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。	ご利用者様のご希望に沿った曜日や時間での入浴を行えるようにしている。ゆったりとした時間の中での入浴を実施し、入浴中は手の届かないところを介助させていただいている。出来るだけご自分で出来るところは時間がかかっても行って頂く様にしている。出来るだけ同性介助を行っている。	利用者の生活のリズムや気持ちの変化を把握し、個々のタイミングと頻度に合わせた入浴の支援を実施している。また、入浴を楽しんで頂けるように、入浴剤等も活用している。	

自己 評価	外部 評価	項 目（ さくらユニット ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	これまでのご本人の生活習慣を 継続した休息時間を取り入れ、 就寝時間もご本人が眠たくな られた時にお休みいただくよう にしている。 起床時間もまちまちである。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	薬局から頂くお薬情報を各職 員がいつでも確認できるように しており、副作用等についても 看護師より随時伝達があり理 解に努めている。また、内服確 認を確実にし、状態の変化等 についても注意している。 また、本人の状態により薬の 形態も変更している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、嗜 好品、楽しみごと、気分転換 等の支援をしている。	役割ややりがいを持っていだ けるような関わりを心がけてい る。ご本人の嗜好品についても 希望に沿っていけるように努 めている。気候のよい時など は近所への散歩・ドライブなど で気分転換を図っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所でも 、本人の希望を把握し、家族 や地域の人々と協力しながら 出かけられるように支援してい る。	役割ややりがいを持っていだ けるような関わりを心がけてい る。ご本人の嗜好品についても 希望に沿っていけるように努 めている。気候のよい時など は近所への散歩・ドライブなど で気分転換を図っている。	気候の良い時期には散歩に出 かけ、買い物やドライブ等を活 用しながら、地域の住民との交 流を大切にしている。 行事・外食等の外出支援だけ でなく、地域の行事にも積極 的に参加し、家族等の協力を 得ながら、外出支援を継続し ている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。	買い物に出掛けられる時には 、支払いをご自分で頂く様に 努めている。		

自己 評価	外部 評価	項 目（ さくらユニット ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話の使用は自由に出来るようになって いる。また、希望があれば手紙などのやり取りも出来るように支援している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	常に清潔をモットーにしている。不快な刺激を避けることが出来るように、光・臭いなど気をつけている。中庭には季節の草花を植え、皆様に観賞していただいている。季節に応じた設えも一緒に作成展示している。	季節を感じて頂けるように、花や飾り等を活用している。居心地の良い空間を維持するために、掃除を徹底し清潔な空間を維持している。介護計画に利用者個人の役割を明記し、居心地の良い共有空間を、利用者と職員が一緒につくることが出来るように、配慮しながら支援している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	個室で一人になれる空間と、リビングにソファや椅子を設け他の入居者様との交流が出来る空間を設けている。また、団欒を楽しむことが出来るように個々の席の配置にも考慮している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室は自由に使用していただいている。入居前に使用しておられた家具などを持ってきていただき、小物などの飾りつけも以前と同じようにすることで、馴染みの空間を作り出している。	エアコン・ベッド・タンスは備え付けで、その他の家具や調度品は持ち込み自由である。室温は、リビングに設置してある温湿度計を活用し管理している。タンス・写真等の大切にしていたものを活かしながら、利用者にとって居心地の良い居室になるように尽力している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	カレンダーや時計などを置き、日付の確認・時間の確認は各自で行ってもらっている。トイレなど場所の確認も分かりやすく表示している。		

V アウトカム項目（ さくらユニット ）← 左記（ ）内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項 目（ もみじユニット ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	職員全員で作った理念を、毎朝の朝礼で出勤職員全員で唱和し、理念に添った支援が行えるように心がけている。ケアプランも、リネンに添ったプランを立案し、スタッフも共有できるようにしてもらっている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に入会し、地域の行事に参加させて頂くとともに、地域の方々にもボランティアにお越しいただき交流をしている。 認知症カフェの声掛けを頂いており、都合つく場合は参加している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の方の質問や相談などに、随時応じている。 施設見学会を年に数回開催し、来訪者の方々の相談も受けている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月ごとの運営推進会議にて、日々の提供しているサービス、苑の行事などを報告している。また、会議で頂く意見は、スタッフ会議で全職員に伝達し、今後のサービス向上に繋げていくようにするつもりでいる。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	地域包括支援センターの職員の方と、運営推進会議の時に情報交換を行い連携をとっている。		

自己評価	外部評価	項 目(もみじユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	基本的には身体拘束は行っていない。 自由に行動できるよう支援している。 玄関は施錠しているが、希望があれば開錠し散歩なども出来るように努めている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	施設内で職員を対象に3か月に一度研修を行っている。 必要に応じて虐待チェックリストを使い、日々の業務内で言動に問題はないか確認する時間を設けている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修会の伝達報告会にて情報を共有している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時は管理者・計画作成担当者が出席し、十分な説明を行っている。説明後も、ご家族の不安・疑問点を尋ね、理解や納得をしていただけるよう努めている。 また、改定等の話は、運営推進会議などを利用し行うと共に、書面にも十分な説明を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議などで頂くご意見、面会時に頂くご意見やご要望は、出来るだけ早急に日々の運営に反映させる様にしていきたいと思っている。 スタッフ会議等をその機会にあてている。		

自己 評価	外部 評価	項 目(もみじユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月行われるスタッフ会議に本社社長・統括施設長が出席し、意見や提案を聞き、今後の運営に役立たせるように努めている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は、賞与等に日頃の努力、実績を反映させ、職員の向上心を上昇させるべく整えている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	本社にて研修会を設け参加している。また、必要と思える外部研修にも個別に対応してもらっている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域包括支援センターを中心として、地域のGH事業者交流会にも参加し情報交換・サービスの質の向上に努めている。		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前面談で、ご本人の思いをお聴きする・ご家族からも情報をお聞きするようにしている。入居されてからは、特に関わりを密に持ち、その思いを傾聴していくことで安心できる環境を整えている。		

自己 評価	外部 評価	項 目（ もみじユニット ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居前にご本人やご家族の困りごとや身体機能・認知症状をお聞きする。把握した上で必要な支援を考え、入居後には出来るだけの関わりを持ち馴染の関係作りに力を入れている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ホーム内で出来る支援以外のサービスを必要とされる場合は対応したいと思っており、その都度何が必要であるかを検討させていただき、対応したいと思っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご利用者様と一緒に掃除・洗濯・料理などの作業を行い、ともに生活をしているという意識の中で業務を行っている。また、助け合っているという思いを言葉にしていくこともしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会等にこられた折に現状を報告し、今のご本人の思いをご家族にお伝えして、ご家族とホームの職員が一緒になって支援するよう心がけている。現在困っておられることや心配などは、出来るだけ早急に対応（連絡）していく事にしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	馴染みの場所へ出かけたり、面会にお越しいただいたりすることで、関係の維持に努めている。		

自己 評価	外部 評価	項 目（ もみじユニット ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	出来るだけ良い関係を保てるように気をつけている。お互いが労わり合ったり助け合ったりされながら、下膳や掃除・濯物量などをされている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービス利用が終了されても、必要に応じて相談や援助に応じられるようにしている。 近所にお住まいの方には、お会いした時にご家族の様子をお聞きしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	アセスメント表などから一人ひとりの意向の確認を行ったり、普段の会話の中から真意を把握するようにしている。また、意思疎通の困難な方にはご家族などから頂いた情報を元に、職員間でカンファレンスなどを行い情報を共有し、ご本人本位の支援ができるようにしている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前にご本人やご家族の要望や思いを傾聴し、馴染みの生活を考慮し環境を整えている。また、入居前のサービス提供者の方より情報を頂いている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個人の現状を十分に把握した中で、プランを計画実施し、お一人お一人に合った生活を送っていただいている。また、状況の変化等記録に残して職員全員で把握できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項 目(もみじユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	必要時には施設長・看護師・介護職員を交えてカンファレンスを行うようにしている。立案時には、ご本人やご家族の意向などをお聞きして、現状に即したプランを作成している。毎日の様子をモニタリングに反映できるようにかかわっており、モニタリングは次のケアプランに生かしている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	ケアプラン実施記録用紙を作成して日々の様子や気づきなどを記入するとともに、プラン立案に役立たせている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	受診の付き添いをはじめ、買い物などの付き添いにも出かける。また、ご本人の行きたいところなどに出掛ける外出支援を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域の行事に参加させていただいたり、関わりのある方々との面会等もお願いして、穏やかに生活を楽しんでいただけるよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	ご家族やご本人が希望される医療機関への受診・往診を行ってもらっている。看護師による医療連携も行われており、適切な治療が受けられるように支援している。時にはスタッフがご家族と一緒に受診し、納得いくように説明を聞く事もある。		

自己 評価	外部 評価	項 目（ もみじユニット ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護師が勤務の時には、夜勤帯での気づきは申し送りで報告し、日勤帯での気づきはその都度報告している。看護師は、個々のかかりつけ医と相談の上、適切な看護を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者様が入院された場合は、ホームでの生活・医療等の情報提供を必ず行い、継続できることはお願いしている。また、たびたび面会に行かせていただく中で、ご本人の容態をお聞きしながら早期退院が出来るようにお願いもしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時には、重度化についての説明を行い、必要時にはご利用者様の容態を考慮した上で、ご家族様・主治医・職員で話し合いを重ね、今後の方針を決めていくことにしている。ご家族の意向に沿ったケアを心がけている。また、看取りについてもしっかりとした経過報告を行いながら実施している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	毎月行われるスタッフ会議で、急変時・事故後の対応の方法・注意事項の確認や訓練を行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	本社指導の下、夜勤勤務者には防火管理者講習の受講を義務付け意識の向上を図るとともに、毎月一回は日・夜勤帯でそれぞれ消防避難訓練を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目（ もみじユニット ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	お一人おひとりの自尊心を大切にさせていただきながら、対応している。排泄時には出入口のドアは閉める・排泄の声かけは大きな声で言わない・入浴介助は出来るだけ同性介助を行うなどプライバシーの保護には十分な注意を払いながら対応させていただいている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	声掛けを行う場合、職員の思いを伝えるのではなく、まずご本人がどうしたいか何を思っているのかを確認する事を心がけている。必要であれば、場所を変えるなどの工夫もしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一日のスケジュールを決めずに（大まかなものはあるが）、お一人おひとりの体調や希望に沿った生活の支援をしている。会話の中から何がしたいか、体調はどうかなどを把握し、無理の無いように取り組んでいる。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎日の更衣の時や入浴時には、衣服は出来るだけご本人と一緒に選んでいる。また、職員が行う時は、季節にあったもの・調和の取れたものなど気をつけている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	メニューにご利用者様の希望を取り入れつつ、季節の食材を使用し、調理・盛り付け・配膳・片付けを一緒に行っている。お誕生日などはその方の好きな物をメニューに取り入れ楽しみにして頂く様にしている。		

自己 評価	外部 評価	項 目(もみじユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	毎食の食事摂取量と水分摂取量を記録し、十分な量が確保できているかどうか確認している。また、一人ひとりの咀嚼・嚥下機能に合わせた食事形態や食事時間など対応できるようにしている。食事の好き嫌いには対応し、出来るだけ残されることの無いように工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後には口腔ケアを行い、口腔内の清潔保持に努めている。また、毎週1回は訪問歯科の訪問診療を受けられ、口腔内のチェックを行っていただいている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排尿チェック表を使用し排尿パターンを知り、日中のトイレ誘導を行うことでパットの使用数を減らすように努力している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	便秘症の方には水分摂取量に注意をしているとともに、適度な運動や看護師による腹部のマッサージなどを行っている。食事メニューに食物繊維の多く含まれるものを使用するようにしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	ご利用者様のご希望に沿った曜日や時間での入浴を行えるようにしている。ゆったりとした時間の中での入浴を実施し、入浴中は手の届かないところを介助させていただいている。出来るだけご自分で出来るところは時間がかかっても行って頂く様にしている。出来るだけ同性介助を行っている。		

自己 評価	外部 評価	項 目（ もみじユニット ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	これまでのご本人の生活習慣を 継続した休息時間を取り入れ、 就寝時間もご本人が眠たくな られた時にお休みいただくよう にしている。 起床時間もまちまちである。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	薬局から頂くお薬情報を各職員 がいつでも確認できるようにし ており、副作用等についても看 護師より随時伝達があり理解に 努めている。また、内服確認を 確実に行い、状態の変化等につ いても注意している。 また、本人の状態により薬の形 態も変更している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	役割ややりがいを持っていただ けるような関わりを心がけてい る。ご本人の嗜好品についても 希望に沿っていけるように努 めている。気候のよい時などは 近所への散歩・ドライブなどで 気分転換を図っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	役割ややりがいを持っていただ けるような関わりを心がけてい る。ご本人の嗜好品についても 希望に沿っていけるように努 めている。気候のよい時などは 近所への散歩・ドライブなどで 気分転換を図っている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	買い物に出掛けられる時には 、支払いをご自分で頂く様に 努めている。		

自己 評価	外部 評価	項 目(もみじユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話の使用は自由に出来るようになって いる。また、希望があれば手紙などの やり取りも出来るように支援してい る。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台 所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用 者にとって不快や混乱をまねくような 刺激（音、光、色、広さ、温度など） がないように配慮し、生活感や季節感 を採り入れて、居心地よく過ごせるよ うな工夫をしている。	常に清潔をモットーにしている。不快 な刺激を避けることが出来るように、 光・臭いなど気をつけている。中庭に は季節の草花を植え、皆様に観賞して いただいている。季節に応じた設えも 一緒に作成展示している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 づくり 共用空間の中で、独りになれたり、 気の合った利用者同士で思い思いに 過ごせるような居場所の工夫をして いる。	個室で一人になれる空間と、リビング にソファや椅子を設け他の入居者様 との交流が出来る空間を設けている。 また、団欒を楽しむことが出来るよ うに個々の席の配置にも考慮している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人 や家族と相談しながら、使い慣れた ものや好みのものを活かして、本人 が居心地よく過ごせるような工夫を している。	居室は自由に使用していただしてい る。入居前に使用しておられた家具な どを持ってきていただき、小物などの 飾りつけも以前と同じようにすること で、馴染みの空間を作り出している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づ くり 建物内部は一人ひとりの「できるこ と」や「わかること」を活かして、 安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している。	カレンダーや時計などを置き、日付の 確認・時間の確認は各自で行っても らっている。トイレなど場所の確認も 分かりやすく表示している。		

V アウトカム項目(もみじユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームほのぼの苑 江波气象台入口

作成日 令和2年3月29日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	2	行事でのつきあいはあるが、それ以外の日常での地域とのつきあいは少ない。	今より近所の方たちと顔なじみになって、挨拶や地域のお話が出来れば良い。(利用者様を巻き込んで)	利用者様と散歩で近くの公園に行き、挨拶やお話しをして顔なじみになる。	外出できるようになってから。2ヵ月。
2	4	運営推進会議の時にヒヤリハットの報告をしていなかった。議事録を玄関の見える所に置いていなかった。	運営推進会議の参加者や面会に来られるご家族様に現状を見て頂く。	議事録は置くだけでなく、面会時にご家族に伝えて見て頂けるようにしていく。	1～2ヵ月
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。